

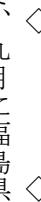
萩にあしあと残そうよ

「空も海も青い！そして暑い！」



室内にいることが多い割に
しっかり日焼けしています。

問い合わせや見積書の依頼など、ちょっとした好機を逃さないよう励みます。



さて、九月に福島県川俣町で開催予定だったフルクローレの音楽祭が中止となり、代わりに動画出演者を募り配信することになりました。そこで「塩原アンデスの会」も

参加することになり、五人のメンバーが集まって収録をしました。そして、その音に合わせて私もケーナを吹いて収録し、同じ映像に仲間入りすることとなりました。

コロナ感染が再び拡大したことを受け、本来は旅行やレジャーを楽しむ八月も、つい遠慮がちに過ごすことになってしまった。そこに連日の猛暑…、外出控えに拍車がかかったのは、私だけではなかつたでしょう。

「日々の暮らし」

一日の出社でした。会社全体の業績は回復途上にあるものの、まだまだ先が明るいとは言えない状況です。私自身も、限られた時間でできることをするほかありません。商品の

◆山中の涼・小直の雄滝◆
島根県津和野町は、「津和野今昔百景図を歩く」というストーリーで、日本遺産に認定されています。幕末の津和野藩の名所や人々の営みを描いた『津和野百景図』が柱になっています。

◆郷土史の講演会へ◆
延期になつていた「史都萩を愛する会・例会講演会」が開催されました。事務局は萩博物館で、今年六月に入会手続きをしました。

演題は「戦国時代の阿武郡（吉見氏・益田氏）」。毛利氏入城以前の萩市域における勢力争いの様子が語られ、これまで聞いていた通説を覆すような内容は、とても興味深く勉強になりました。受け売りですが、後日まとめてみようと思います。

仕事面では、八月も原則週一日の出社でした。会社全体の業績は回復途上にあるものの、まだ先が明るいとは言えない状況です。私自身も、限られた時間でできることをするほかありません。商品の



“快水浴場百選”である
菊ヶ浜海水浴場



ランニング後、日本海を
バックに朝日を浴びて
写真一枚。（8/30）

向い風耐えて
トンネル抜け出した先に
輝く明けの明星
ひと朝に二度すれ違う
人あれば笑み交わし合う
旧知のごとく
(八月二六日)

月の海水浴は一度きりでした。が、好天続きの八月は四回海水浴しました。一人で行くので、遊ぶというよりは運動が目的です。首を出しての平泳ぎながら、腕と肩を大きく動かすように心がけ、時間をかけて泳ぎます。猛暑であることをひととき忘れ、水中からもう一つある滝と、どっちがどっち？という話ですが、まあ説明はやめにして、岩盤を滑るように流れる水は、涼やかで美しいものでした。

萩の美しい景色を満喫できました。しかし、お盆を過ぎると人もまばらになり、まだまだ泳げるのもつたいないなあと思うほどでした。

ヒグラシとコオロギともに長からぬ命の限り鳴く明け方に
(八月二十日)

健診の結果開いて安堵する
一人暮らしの成績良好
(八月二十四日)

◆海水浴で気分爽快◆

梅雨明けが遅れたので、七月の海水浴は一度きりでした。

「自由気ままな歌日記」

揺れ動くこと気がかりな
歯を抜きて無きは
無きにて寂しものなり
(七月三一日)



殿様も好んだ
滝という

「ま・な・び の記録」

世界遺産のある町 ・萩(4) 『松下村塾』

◆当時の時代背景など

松陰は、安政元年（一八五四）三月に、ペリーの黒船に乗り込みましたが、密航は失敗に終わります。鎖国という条件下では、歐米列強の技術について、海外渡航をしてため、松陰は理論と実技を兼ね備えた工学教育施設の開設を説くようになります。やがて、松陰の思想は門下生を中心に引き継がれ、文久三年（一八六三）の、イギリスへ五人の密航留学が実現することになります。

◆松下村塾の沿革

◆松下村塾の沿革
松下村塾は、松陰の叔父である玉木文之進が天保一三年（一八四二）に創始した私塾で、やがて塾名は久保五郎左衛門に引き継がれました。松陰は久保から塾名を継ぎ、三代目の主宰者となります。



松陰神社境内にある松下村塾

◆世界遺産登録のポイント

松下村塾には「明治日本の産業革命遺産」の他の構成資産と異なり、工場的な要素がありません。また、松陰の教育により、維新の志士や明治新政府の政治家が輩出されたというイメージが強いこともあり、構成資産に含まれてい



吉田松陰誕生地の像 右は今又重輔

二に作業場を興すこと。
…作業場を学校に併設し、技能を持つ者全員が才能を發揮できるよう従事させ、人々の知恵を集めて工夫し、船艦・機械について研究させれば、必ずする完成するはず！

◆松陰の工学教育論とは？

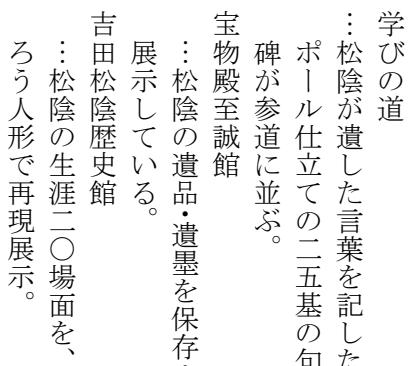
◆ 桜院の「小学教育論」とは
安政五年（一八五八）に著
した「学校を論ず、付けたり
作場」という論文より。



(家族宛辞世歌)

◆よりみち雑話

松下村塾のある松陰神社の境内を散策してみましよう。



- ・松陰が遺した言葉を記した
ポール仕立ての二五基の句
碑が参道に並ぶ。
- 宝物殿至誠館
- ・松陰の遺品・遺墨を保存
展示している。
- 吉田松陰歴史館
- ・松陰の生涯二〇場面を、
ろう人形で再現展示。

：旧社殿を本殿の隣に移築し、松陰の塾生・門下生が祀られている。

吉田松陰幽囚ノ旧宅

：野山獄への投獄後、松陰が謹慎生活をした実家、杉家の旧宅。幽囚室がある。

○年（一九〇七）に創建。
現社殿は昭和三〇年（一九五五）に竣工。